

実践研究校事業実施報告書

1. 実践研究校名・責任者氏名

ふりがな 学校名	おかやまけんびぜんしりつかたかみしょうがっこう 岡山県備前市立片上小学校	ふりがな 校長 氏名	こやま かずよし 小山 一好
-------------	---	------------------	-------------------

2. 年間事業経過

月	取組の内容		
	校内における取組	主催研究会・発表会等	先進校視察・協議会等
4月	研究推進委員会 年間計画の立案と検討 校内研修 推進事業について校内で共通理解		研修及び資料収集 (備前市立伊里小学校)
5月	授業実践 校内研修 年間計画の確認、共通理解、ALTとの打ち合わせ DVD教材視聴、学習指導案、教材教具作り		
6月	授業実践 公開授業指導案検討、校内研究会 5年「数と遊ぼう」 学習指導案、教材教具作り	校内研究会・市内公開 指導助言 岡山県教育庁指導課 指導主事 西田寛子先生	
7月	授業実践 校内研修 児童アンケートの分析		
8月	校内研修 学習指導案、教材教具作り 校内研修(市外国語活動部会夏季研修会) 講師 岡山市立津島小 藤井佐代子先生		実践研究事業第1回推進会議 研修及び資料収集 (美作市立英田小学校)
9月	授業実践 校内研修 学習指導案、教材教具作り		
10月	授業実践 公開授業指導案検討、校内研究会 5年「外来語を知ろう」 学習指導案、教材教具作り		
11月	授業実践 公開授業指導案検討、校内研究会 6年「将来の夢を紹介しよう」 学習指導案、教材教具作り	校内研究会・市内公開 指導助言 岡山県教育庁指導課 指導主事 西田寛子先生	研究発表会(美咲町立備前東小学校) 研究発表会(大牟田市) 英語活動等指導者養成研修(佐賀市)
12月	授業実践 校内研修 学習指導案、教材教具作り 2学期までのまとめと今後の研究の方向性		研究発表会(京都市)
1月	授業実践 校内研修 学習指導案、教材教具作り		国際理解教育研究発表会 (矢掛町立矢掛小学校) 実践研究事業第2回推進会議
2月	授業実践 公開授業指導案検討、校内研究会 6年「行ってみたい国を紹介しよう」	校内研究会・市内公開 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 伊藤 豊美先生	
3月	授業実践 校内研修 本年度の研究のまとめと来年度の研究計画		

3. 取組の具体的な内容

<p>a 文部科学省が作成する小学校における外国語活動のための教材（「英語ノート」、「付属CD」（音声教材）、「英語ノート」指導資料及び「英語ノート」準拠デジタル教材）を活用した授業の実践</p> <p>「英語ノート」 一人一人の児童の手元にあることで、絵等を手がかりに聞き取ったり、付録の絵カードを切り取って活用したりすることができた。</p> <p>「付属CD」 英語で歌を歌ったり、チャンツをしったりすることを通して英語のリズムに慣れ、日本語と外国語の違いを知り、言葉の豊かさに気付くことができた。また、単語の発音やチャンツや「Let's listen」を児童とともに行う時に、有効であった。</p> <p>「英語ノート」指導資料 1時間ごとの学習指導案を作成する時に参考にしたり、評価の観点や評価方法を絞り込むときに活用したりすることにより、授業に生かすことができた。</p> <p>「英語ノート」準拠デジタル教材 英語の発音を導くための具体物とし、絵カードにして活用していった。外国語の音声やリズムに慣れるために繰り返し練習したり、日本語と外国語との違いに気付いたりするために有効であった。</p>
<p>b 外国語を通じた、言語や文化についての体験的な理解、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみなど、コミュニケーション能力の素地に関する評価の観点及び評価方法の研究</p> <p>A L Tとの事前の打ち合わせの際には、学習指導案（略案）を提示して、その中に評価の観点を入れるようにしている。1単位時間の中で観点を2つまでとし、単元の終了までに3つの項目（言語や文化についての体験的な理解・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度・外国語の音声や表現への慣れ親しみ）について、評価できるようにしている。評価に際して、A L TとH R Tとが互いに評価する場面を確認して授業を行った。評価方法としては、行動観察（学習の終末において、教師と児童が一对一で個別評価できる場の設定）やワークシートなどを通して、A L TとH R Tが互いに連携して行っている。</p>
<p>c 児童の興味・関心等の学習状況の変容に関する定量的な把握及び文部科学省が実施するアンケート等の調査の実施</p> <p>文部科学省が実施するアンケートを2回（9月・1月）行った。外国語活動の授業に、進んで参加していると回答した児童は約60%（1月約63%）であり、英語でゲームをすることを一番楽しいと感じている児童は約80%（1月約82%）であった。内容の理解についても、ほぼ理解していると回答した児童は、75%（1月約78%）であった。外国語活動の授業について興味・関心をもって取り組んでおり、ゲーム等を通して、内容を理解しつつあると言える。</p> <p>しかし、英語で友達と会話をするのを楽しいと感じている児童は40%（1月44%）であった。英語に対して、英語を使えるようになりたい84%（1月89%）・大切である81%（1月84%）と思っている反面、英語で自分のことや意見を発表することに苦手な面を感じている児童が多い（9月25%・1月27%）という結果が表れた。3学期も引き続き、単元の入口ではしっかり聞かせ、十分なインプットを行うとともに、児童が必要感をもつような状況設定の場をつくるなど、授業を工夫して取り組んできている。</p>
<p>d 授業の中心となる学級担任等及び校内の他の教員の指導力向上のための取組</p> <ul style="list-style-type: none">・校内研修を通して、外国語活動の目標・内容といった理論面での研修や、学習指導案の作成・教材教具の制作といった実践面での研修を全教職員で行うことができた。・校内研修において、DVD教材（文部科学省）を活用し、外国語活動の具体的なイメージをもち、学級担任が授業に臨むことができた。そして平素からの授業や授業研究会を重ねるごとに、本校の学習過程を築き上げることができた。・授業反省で出されたことや、研修会・研究会で学び取ったことを、研究だよりに具体的に書き記すことにより、みんなで共通理解を図って取り組むことができ研究テーマに迫っていくことができた。

<p>e. 学級担任等を補助するためのALTや地域人材等の外部人材の効果的な活用</p> <p>本単元で学習するダイアログについて、ALTとHRTとで役割演技をすることで、本時に向けての興味・関心をもたせることができた。英語ノートに、取り上げられていない言葉の発音を教えてもらったり、繰り返し新出単語やチャンツの練習を支援してもらった。</p> <p>学級担任が学習指導案（略案）をもち、打ち合わせ時間を一時間確保し、互いのアイデアを出し合うことで指導内容や指導方法が練られ、指導の効果を上げることができた。</p>
<p>f. 他の小学校や中学校等との連携</p> <p>同一中学校区内における小学校間では、学習にばらつきがないように話し合いを行い、年間指導計画や学習内容をほぼ統一して指導することができた。市内小学校外国語活動部会の活動と連携して、各校との学習内容面での情報交換を行ったり、公開授業の時に互いに授業を見合ったりして、研修を進めていった。</p>
<p>g. その他（校内における外国語活動推進体制の構築、地域との連携等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研究組織を5年部会と6年部会に分けて、学習指導案の作成・教材教具の準備を行って行く中で全教職員で共通認識をもつことができた。 ・職員室に外国語活動コーナーを設け、絵カードやCD、指導用の図書・書籍を整理することにより、教材教具の整備を図っていった。 ・学級担任とALTが打ち合わせを行いやすいように時間割の調整を行い、授業ごとに一時間の確保を行うなど、支援体制を整えていった。

4. 年間指導計画及び指導案

別添資料参照。

5. 取組の成果等

<ul style="list-style-type: none"> ・研究組織を5年部会と6年部会に分けて、学習指導案の作成・教材教具の準備を行い、授業研究を進める中で年度当初、課題としてあげられていたことについて方向性が明らかになり、全教職員で共通認識をもつことができた。 ・たっぶりインプットすることで、アウトプットが可能になることから、単元計画において、1時では単語・文化理解が中心、2時ではダイアログの練習、3時では発信準備、4時では発信という学習過程で進めていくことにした。 ・新しいダイアログをHRTとALTが状況設定（デモンストレーション）を繰り返すことで理解が進み、児童が発信する自信へとつながっていった。状況設定の工夫（必要感）とALTとの連携（役割分担）を効果的に進めることにより、研究テーマに迫る手だてがよりはっきりとしてきた。 ・授業者は、ゲームのルール説明など、必要な場面では日本語できちんと教えることで、児童にも安心感が生まれた。 ・本校の研究の視点（ALTとの連携・英語ノートの活用）と外国語活動のキーワード（CLEAR VOICE, NICE SMILE, GOOD GESTURE）と学習指導要領（外国語活動の目標）との関連がつながり、研究の方向性が確かなものとなった。
--

6. 次年度以降の継続・展開

<ul style="list-style-type: none"> ・単元の入口では、たっぶりしっかり聞かせることを授業者が意図していくとともに英語ノート「Let's listen」の部分大切に扱いながら、十分なインプットを児童にしていく。 ・楽しそう・やってみたく、意欲をもって活動できるような必要感と、生活との結びつきで、伝えたいという必要感の2つの必要感をもって学習活動に取り組めるように研究を進めていく。 ・オールイングリッシュにこだわる必要はないが、絵カードやジェスチャー等で通じる場面はできるだけ日本語を使わないように、ポイントとなる本当に必要な場面で日本語を使うように授業を工夫していく。 ・英語ノートのどこを活用し、どこが使いにくく改良していけるのかを授業を通して検証していき、研究テーマに迫っていく。 ・コミュニケーション能力の素地に関する評価の観点及び評価方法について、評価規準を作成し、それをもとに検証していく必要がある。
--

単元	タイトル	英語 ノート	指導内容			
			第1時	第2時	第3時	第4時
1	世界の「こんにちは」を知ろう	1-1	世界には様々な挨拶があることを知る。	挨拶のマナーを知り、積極的に挨拶し、自分の名前を言う。	友だちと挨拶をし、作成した名詞を交換する。	
	ダイアログ等	What's your name? / My name is ken. / Nice to meet you. 名前・挨拶の言い方				
2	ジェスチャーをしよう	1-2	様々な感情や様子を表す語を知り、そのジェスチャーをする。	ジェスチャーの大切さを知り、ジェスチャーを付けて思いを伝える。	ジェスチャーを付けて、進んで相手に挨拶する。	感情や様子を、ジェスチャーを付けて表現し、伝える。
	ダイアログ等	How are you? / I'm happy. 体の様子の言い方				
3	数で遊ぼう	1-3	1～10の数の言い方や尋ね方を知る。	1～10の数の言い方や尋ね方を扱ったゲームを友達と行う。	11～20の数の言い方や尋ね方を知る。	11～20の数の言い方や尋ね方を扱ったゲームを友達と行う。
	ダイアログ等	How many? / Five. 数の言い方				
4	自己紹介をしよう	1-4	好き嫌いについて聞き取る。	自分の好き嫌いを相手に伝える。	友達に好き嫌いを尋ねる。	自分の好きな物を含めて、自己紹介する。
	ダイアログ等	Do you like apples? / Yes, I do. / No, I don't. I like bananas. / Thank you. 好き・嫌いの言い方				
5	いろいろな衣装を知ろう	1-5	世界には様々な衣装があることを知るとともに、衣服の言い方を知る。	自分の意見をはっきり言うことの大切さに気付くとともに、衣服を買う時の表現を知る。	好みをはっきり言ったり、相手が気持ちよく買い物できるように声をかける。	聞き手に自分が買った物が正しく伝わるように発表する。
	ダイアログ等	I don't like blue. 色の言い方				
6	外来語を知ろう	1-6	外来語とその由来のごとの発音の違いに気付き、注意して発音する。	相手から尋ねられた際、自分の欲しいものを相手に頼む。	欲しいものを尋ねたり要求したりして、友達のフルーツ・パフェを作る。	作ったフルーツ・パフェを紹介する。
	ダイアログ等	What do you want? / Melon, please. 欲しいものの言い方				
7	クイズ大会をしよう	1-7	英語と日本語の違いを通して、漢字の成り立ちのおもしろさに気付く。	「これは何ですか。」の質問に対して、何について尋ねられているか理解し、答える。	「これは何ですか。」の言い方を使って尋ねる。	友達と互いに尋ねたり、答えたりしてクイズ大会を楽しむ。
	ダイアログ等	What's this? / It's a pencil. 尋ねる言い方				
8	時間割を作ろう	1-8	世界には様々な学習があることに気付き、教科の言い方を知る。	教科名や曜日を扱ったゲームをする。	作成した自分のオリジナル曜日時間割を友達に伝える。	グループで作成した時間割を発表する。
	ダイアログ等	I study Japanese. 教科・曜日の言い方				
9	ランチ・メニューを作ろう	1-9	日本と外国とでは、朝食時に食べるものが異なっていることを知る。	食べ物や料理を表す語を知る。	丁寧な表現で尋ねたり、自分の欲しいものを伝えたりする。	グループで作成したオリジナルランチセットを紹介する。
	ダイアログ等	What would you like? / I'd like juice. 食べ物・料理の言い方				

単元	タイトル	英語 ノート	指導内容			
			第1時	第2時	第3時	第4時
1	アルファベット で遊ぼう	2-1	アルファベットの大文字の読み方を知る。	大文字の読み方を聞き、大文字を認識する。	自ら大文字を読み、大文字と読み方を一致させる。	
	ダイアログ等	What's this ? / A ~ Z / 数字の読み方				
2	いろいろな文字があることを知ろう	2-2	世界のさまざまな文字に興味をもち、アルファベットの小文字を知るとともに、21以上の数を言う。	小文字に興味をもち、小文字を認識する。	自ら小文字を読み、小文字と読み方を一致させる。	身の回りにあるアルファベット表示に興味をもち、大文字と小文字を書き写す。
	ダイアログ等	What's this ? / a ~ z / 数字の読み方				
3	好き嫌いを 尋ね合おう	1-4	食べ物の好き嫌いについて聞き取る。	自分の動物の好き嫌いを相手に伝える。	友達に好き嫌いをたずね、伝え合う。	
	ダイアログ等	Do you like ~? / Yes, I do. / No, I don't. / I like ~. / 食べ物・動物・色の言い方				
4	時間割を作ろう	1-8	外国の小学校の科目に興味をもち、教科の言い方を知る。	教科名や曜日の言い方に慣れる。	オリジナル曜日時間割を作り、友達に紹介する。	
	ダイアログ等	I study ~. / 曜日の言い方				
5	友達の誕生日を知ろう	2-3	日本の季節の行事や特徴を伝え、月の言い方を知る。	自分の誕生月を言う。	誕生日についての話を聞き、その概要を理解する。	自分や友達の誕生日について尋ねたり答えたりする。
	ダイアログ等	When is your birthday ? / My birthday is ~. / 月の言い方				
6	自分の夢を紹介しよう	2-9	さまざまな職業の言い方を知る。	将来つきたい職業についての話を聞き、概要を理解する。	将来つきたい職業を尋ねたり、理由とともに答えたりする。	メモをもとに、理由を含めて自分の夢を紹介する。
	ダイアログ等	What do you want to be ? / I want to be a ~. / 職業の言い方				
7	できることを紹介しよう	2-4	相手の話を聞き、できることできないことを理解する	どのようなことができるかを友達に尋ねたり、答えたりする	友達と、どのようなことができるかを尋ねたり答えたりする	自分ができることを発表し、友達の発表を理解する。
	ダイアログ等	Can you ~? / Yes, I can. / No, I can't. / I can ~. / I can't ~. / スポーツの言い方				
8	道案内をしよう	2-5	方向や動きを指示する表現を聞いて理解する。	方向や動きを指示する表現を使い、相手に目的地を教える。	道案内したり、案内に従って目的地に行ったりする	
	ダイアログ等	Where is the ~ ? / Go ~. / Turn ~. / Stop. / 方向や動きの言い方				
9	行ってみたい国を紹介しよう	2-6	世界の国々に興味をもち、国名の言い方を知る。	行きたい国を紹介する表現を聞き、概要を理解する。	行きたい国を尋ねたり、答えたりする。	メモをもとに、理由を含めて行きたい国を紹介する。
	ダイアログ等	Where do you want to go ~? / I want to go to ~. / 国の言い方				
10	自分の一日を紹介しよう	2-7	時差があることを知り、時間についての表現を知る。	先生の1日の生活について話を聞き、概要を理解する。	生活表を作り、自分の1日を紹介し合う。	
	ダイアログ等	What time do you ~? / At ~. / I go to bed. / 時間の言い方				

第5学年 外国語活動学習指導案 (Lesson6-1)

備前市立片上小学校

- 1 単元名 外来語を知ろう
- 2 単元の目標 (1) ほしい物を注文したり, 尋ねるゲームをしたりする。
(2) ほしい物の注文の仕方や尋ね方に慣れ, 親しむ。
(3) 身近な外来語に興味をもつ。
- 3 新出単語 TV, banana, gorilla, tomato, milk, kangaroo, guitar, camera, doughnut
- 4 本時のねらい 外来語とそのもととなる言語では, 音が違うことに気付き, 英語の音に気を付けて発音しようとする。
- 5 本時の展開 (第1限目)

時間分	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物	
3	1 あいさつをする。	○児童と一緒に元気にあいさつをすることで外国語活動を始める雰囲気高める。	・児童とあいさつをする。		
	2 互いに対話をする。	○既習ダイアログを使って, 対話する場を設定することで, 英語表現に慣れるようにする。 ・隣同士 ・前と後ろ	・児童同士, 対話をしている場に入り, 発話に困っている児童の手助けをする。		
	3 本時のめあてを知る。	外来語を探して, 発音しよう。			
20	4 予想する。	○前時までに学習したことを想起させる。出てこない場合は, 教科書の外来語の単語の絵カードを用意しておく。	・数の単語を繰り返し発音する。 ・口形やアクセントが分かるように単語を繰り返し発音する。		フラッシュカード 英語ノート
	5 新出単語の練習をする。 ・習熟練習 ・ゲーム キナバーゲーム	○テンポよくフラッシュカードを提示することで, 活動に集中できるようにする。 ○問題を出し合うことで, 児童が達成感をもつことができるようにする。	・答えた児童を Good!Great! 等, 多様な言葉で称揚する。 ・大きな声で発話している児童を称揚する。		
40	6 たしかめをする。	○児童と対話を行い, 個別評価することで達成感をもつことができるようにする。	・児童と1対1の対話をする。		
44	7 あいさつをする。	○児童と一緒に ALT と英語であいさつをすることで次時への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。		

6 評価

- (1) 外来語を探し進んで発音しようとしていたか。
- (2) 「外来語の口形とアクセントを知り, 友達と発話することができたか。

7 指導後の反省等

外来語を探す際に, 英語ノートを開いている児童が多く, ノートにある単語に限られてしまったので, 広がりがなかった。CDを使って外来語と元の英語では発音に違いがあることを意識しながら, 練習をすることができた。

第5学年 外国語活動学習指導案 (Lesson6-2)

備前市立片上小学校

- 1 単元名 外来語を知ろう
- 2 単元の目標 (1) ほしい物を注文したり, 尋ねるゲームをしたりする。
(2) ほしい物の注文の仕方や尋ね方に慣れ, 親しむ。
(3) 身近な外来語に興味をもつ。
- 3 新出単語 cake, basketball, koala, calendar, soccerball, lemon, cabbage, piano, glove
新出ダイアログ What do you want? , please.
- 4 本時のねらい 「何がほしいですか。」という表現の仕方を知り, 進んで英語でほしい物を答えようとする。
- 5 本時の展開 (第2限目)

時間分	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物
1	あいさつをする。	○児童と一緒に元気にあいさつをすることで英語活動を始める雰囲気高める。	・児童とあいさつをする。 ・体調や天気を尋ねる。	
3	2 既習単語の復習をする。	○単語の絵カードを使って, 前時に学習したことを思い出させることにより, 英語の発音に慣れるようにする。	・口形やアクセントに困っている児童の手助けをする。	絵カード
8	3 本時のめあてを知る。	ほしい物を尋ねたり, 答えたりしよう。		
4	4 新出単語の練習をする。	○テンポよくフラッシュカードを提示することで, 活動に集中できるようにする。	・外来語の単語を繰り返し発音する。 ・状況設定を HRT とペアで行う。	フラッシュカード
20	5 新出ダイアログの練習をする。 状況設定 習熟練習 チャンツ What do you want? ゲーム おはじきゲーム	○ICTを活用したり, 身近な場面を想定したりしながら ALT と対話することで, ほしい物を尋ねているという状況場面をつかむことができるようにする。 ○ALT や友達と繰り返し練習することで, ダイアログに慣れるようにする。 ○チャンツをすることを通して, 楽しみながら英語表現に慣れるようにする。 ○問題を出し合うことで, 児童が達成感をもつことができるようにする。	・口形やアクセントが分かるように単語を繰り返し発音する。 ・答えた児童を Good!Great! 等, 多様な言葉で称揚する。 ・手拍子や動作を付けながらリズムよくチャンツを言う。 ・大きな声で発話している児童を称揚する。	CD 英語ノート
37	6 たしかめをする。	○児童と対話を行い, 個別評価することで達成感をもつことができるようにする。	・児童と1対1の対話をする。	
44	7 あいさつをする。	○児童と一緒に ALT と英語であいさつをすることで次時への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。	

6 評価

- (1) ほしい物を進んで尋ねたり, 答えたりしようとしていたか。
- (2) 「何がほしいですか。」という表現を知り, 友達と発話することができたか。

7 指導後の反省等

状況場面をつかむ時, 児童からすぐ正答が出たため, ダイアログの理解が十分ではなかった。ピンゴゲームの枠に欲しい物を書き込む時, 欲しい物を書きたいというリアルさを求めていたので, 書きにくい児童もいた。レストランでの場面のCDを聴く時は, とても熱心に聞いていたので, 生活に密着した必要感があることで, 活動が能動的になるのだと思われる。

第5学年 外国語活動学習指導案 (Lesson6-3)

備前市立片上小学校

- 1 単元名 外来語を知ろう
- 2 単元の目標 (1) ほしい物を注文したり, 尋ねるゲームをしたりする。
(2) ほしい物の注文の仕方や尋ね方に慣れ, 親しむ。
(3) 身近な外来語に興味をもつ。
- 3 新出単語 apple, banana, pineapple, strawberry, melon, grapes, cherry
新出ダイアログ What do you want? ~ and ~, please.
- 4 本時のねらい 「何がほしいですか。」という表現の仕方を理解し, 自分のオリジナルパフェを作ろうとする。
- 5 本時の展開 (第3 限目)

時間分	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物
3 8	1 あいさつをする。	○児童と一緒に元気にあいさつをすることで外国語活動を始める雰囲気高める。	・児童とあいさつをする。 ・体調や天気を尋ねる。	CD
	2 前時の復習をする。 チャンツ	○チャンツをすることを通して, 楽しみながら英語表現に慣れるようにする。	・手拍子や動作を付けながらチャンツを言う。	
	What do you want?	自分のオリジナル・パフェを作ろう。		
20	3 本時のめあてを知る。 4 新出単語の練習をする。	○テンポよくフラッシュカードを提示することで, 活動に集中できるようにする。	・果物の単語を繰り返し発音する。	フラッシュカード
44	5 既習ダイアログの練習をする。 状況設定 オリジナルパフェ作り	○HRTとALTが店員とお客に分かれ対話をするので, ほしい物を尋ねているという状況場面をつかむことができるようにする。 ○ペアで店員とお客となり, 友達同士繰り返し練習することで, ダイアログに慣れるようにする。 ○店員とお客に分かれ対話をし合い, パフェを作ることで, 児童が達成感をもつことができるようにする。	・状況設定をHRTとペアで行う。 ・口形やアクセントが分かるように単語を繰り返し発音する。 ・答えた児童を Good!Great! 等, 多様な言葉で称揚する。 ・大きな声で発話している児童を称揚する。	英語ノート
	6 あいさつをする。	○児童と一緒にALTと英語であいさつをすることで次時への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。	

6 評価

- (1) ほしい物を進んで尋ねたり, 答えたりしようとしていたか。
- (2) 「何がほしいですか。」という表現を知り, 友達と発話することができたか。

7 指導後の反省等

カードを切る時間がかかり, 友達同士での対話が十分できなかった。

第5学年 外国語活動学習指導案 (Lesson6-4)

備前市立片上小学校

- 1 単元名 外来語を知ろう
- 2 単元の目標 (1) ほしい物を注文したり, 尋ねるゲームをしたりする。
(2) ほしい物の注文の仕方や尋ね方に慣れ, 親しむ。
(3) 身近な外来語に興味をもつ。
- 3 既習ダイアログ What do you want? ~ and ~, please.
- 4 本時のねらい 「何がほしいですか。」という表現の仕方を理解し, 作ったオリジナル・パフェを紹介しようとする。
- 5 本時の展開 (第4 限目)

時間分	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物
1	あいさつをする。	○児童と一緒に元気にあいさつをすることで外国語活動を始める雰囲気をもつ。	・児童とあいさつをする。 ・体調や天気を尋ねる。	
3	2 前時の復習をする。 チャンツ What do you want?	○チャンツをすることを通して, 楽しみながら英語表現に慣れるようにする。	・手拍子や動作を付けながらチャンツを言う。	CD
8	3 本時のめあてを知る。	自分の作ったオリジナル・パフェを紹介しよう。		
13	4 既習単語の復習をする。 5 既習ダイアログの復習をする。 状況設定 クイズ オリジナルパフェ紹介	○テンポよくフラッシュカードを提示することで, 活動に集中できるようにする。 ○事前に HRT が作ったオリジナル・パフェについて, ALT と紹介する対話をするので, 状況場面をつかむことができるようにする。 ○前に出ている児童に, クラス全員で What do you want?と尋ね, 答えることによりどのパフェかを当てさせる。 ○問題を出し合うことで, 児童が達成感をもつことができるようにする。	・果物の単語を繰り返し発音する。 ・状況設定を HRT とペアで行う。 ・口形やアクセントが分かるように単語を繰り返し発音する。 ・答えた児童を Good!Great! 等, 多様な言葉で称揚する。 ・大きな声で発話している児童を称揚する。	フラッシュカード オリジナル・パフェ
44	6 あいさつをする。	○児童と一緒に ALT と英語であいさつをすることで次時への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。	

6 評価

- (1) ほしい物を進んで尋ねたり, 答えたりしようとしていたか。
- (2) 「何がほしいですか。」という表現を知り, 友達と発話することができたか。

7 指導後の反省等

前時までに「What do you want?」の言い方を繰り返し練習していたので, 大きな声で発話することができた。誰のパフェかを当てるクイズを入れることで, 友達の発表を集中して聞くことができた。

第5学年 外国語活動学習指導案 (Lesson8-1)

備前市立片上小学校

- 1 単元名 時間割を作ろう
- 2 単元の目標 (1) オリジナルの時間割を考えたり, ゲームをしたりする。
(2) 英語で自分たちが作ったオリジナルの時間割を伝える。
(3) 世界の小学校の学校生活に興味をもつ。
- 3 新出単語 Japanese, English, math, science, social studies, music, P.E., arts and crafts, home economics
- 4 本時のねらい 教科の言い方を知り, 進んで英語で発話しようとする。
- 5 本時の展開 (第1限目)

時間分	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物
3	1 あいさつをする。 2 互いに対話をする。	○児童と一緒に元気にあいさつをすることで外国語活動を始める雰囲気高める。 ○既習ダイアログを使って, 対話する場を設定することで, 英語表現に慣れるようにする。 ・隣同士 ・前と後ろ	・児童とあいさつをする。 ・児童同士, 対話をしている場に入り, 発話に困っている児童の手助けをする。	
8	3 本時のめあてを知る。	いろいろな国の教科の言い方を知ろう。		
20	4 新出単語の練習をする。 ・習熟練習 ・ゲーム 指さしゲーム	○前時までに学習したことを想起させる。出てこない場合は, 教科書の外来語の単語の絵カードを用意しておく。 ○テンポよくフラッシュカードを提示することで, 活動に集中できるようにする。	・数の単語を繰り返し発音する。 ・口形やアクセントが分かるように単語を繰り返し発音する。 ・答えた児童を Good!Great! 等, 多様な言葉で称揚する。 ・大きな声で発話している児童を称揚する。	フラッシュカード 英語ノート
37	5 たしかめをする。	○児童と対話を行い, 個別評価することで達成感をもつことができるようにする。	・児童と1対1の対話をする。	
44	6 あいさつをする。	○児童と一緒に ALT と英語であいさつをすることで次時への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。	

6 評価

- (1) 教科の言い方を進んで尋ねたり, 答えたりしようとしていたか。
- (2) 教科の言い方を知り, 友達と発話することができたか。

7 指導後の反省等

難しい単語は, ALT に何度も発音をしてもらい, 繰り返し練習をしたことで発音できるようになった。

第5学年 外国語活動学習指導案 (Lesson8-2)

備前市立片上小学校

- 1 単元名 時間割を作ろう
- 2 単元の目標 (1) オリジナルの時間割を考えたり、ゲームをしたりする。
(2) 英語で自分たちが作ったオリジナルの時間割を伝える。
(3) 世界の小学校の学校生活に興味をもつ。
- 3 新出単語 Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday
新出ダイアログ I study ~ .
- 4 本時のねらい 「～を勉強します。」という表現の仕方を知り、進んで英語で伝えようとする。
- 5 本時の展開 (第2限目)

時間分	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物
1	あいさつをする。	○児童と一緒に元気にあいさつをすることで外国語活動を始める雰囲気高める。	・児童とあいさつをする。 ・体調や天気を尋ねる。	
3	2 既習単語の復習をする。	○単語の絵カードを使って、前時に学習したことを思い出させることにより、英語の発音に慣れるようにする。	・口形やアクセントに困っている児童の手助けをする。	絵カード
8	3 本時のめあてを知る。	教科の言い方を知り、伝えよう。		
12	4 新出単語の練習をする。 ゲーム ビンゴゲーム	○テンポよくフラッシュカードを提示することで、活動に集中できるようにする。 ○問題を出し合うことで、児童が達成感をもつことができるようにする。	・外来語の単語を繰り返し発音する。 ・大きな声で発話している児童を称揚する。	フラッシュカード 英語ノート
20	5 新出ダイアログの練習をする。 状況設定 習熟練習 チャンツ	○身近な場面を想定したりしながら、ALT と対話をするすることで、教科を勉強しているという状況場面をつかむことができるようにする。 ○ ALT や友達と繰り返し練習することで、ダイアログに慣れるようにする。 ○チャンツをすることを通して、楽しみながら英語表現に慣れるようにする。	・状況設定を HRT とペアで行う。 ・口形やアクセントが分かるように単語を繰り返し発音する。 ・答えた児童を Good!Great! 等, 多様な言葉で称揚する。 ・手拍子や動作を付けながらリズムよくチャンツを言う。	
37	6 たしかめをする。	○児童と対話を行い、個別評価することで達成感をもつことができるようにする。	・児童と1対1の対話をする。	
44	7 あいさつをする。	○児童と一緒に ALT と英語であいさつをすることで次時への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。	

6 評価

- (1) 教科の言い方を進んで伝えようとしていたか。
- (2) 「～を勉強します。」という表現を知り、友達と発話することができたか。

7 指導後の反省等

既習単語の復習では、全員で練習するだけでなく一人で行わせたり、グループで行わせるなど変化をつけた練習をしたりすることで、意欲的に取り組むことができた。

第5学年 外国語活動学習指導案 (Lesson8-3)

備前市立片上小学校

- 1 単元名 時間割を作ろう
- 2 単元の目標 (1) オリジナルの時間割を考えたり, ゲームをしたりする。
(2) 英語で自分たちが作ったオリジナルの時間割を伝える。
(3) 世界の小学校の学校生活に興味をもつ。
- 3 新出単語 Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday
新出ダイアログ I study ~ on ~ . . .
- 4 本時のねらい 「○曜日, ~を勉強します。」という表現の仕方を理解し, 自分のオリジナルの時間割を作ろうとする。
- 5 本時の展開 (第3限目)

時間分	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物
3	1 あいさつをする。 2 前時の復習をする。 チャンツ	○児童と一緒に元気にあいさつをすることで外国語活動を始める雰囲気高める。 ○チャンツをすることを通して, 楽しみながら英語表現に慣れるようにする。	・児童とあいさつをする。 ・体調や天気を尋ねる。 ・手拍子や動作を付けながらチャンツを言う。	
8	3 本時のめあてを知る。	自分のオリジナル・時間割を作ろう。		
12	4 新出単語の練習をする。 Let's sing. 曜日の歌	○テンポよくフラッシュカードを提示することで, 活動に集中できるようにする。	・果物の単語を繰り返し発音する。	フラッシュカード
20	5 新出ダイアログの練習をする。 状況設定 オリジナル時間割作り	○身近な場面を想定して HRT と ALT が対話をするすることで, オリジナルの時間割を作成しているという状況場面をつかむことができるようにする。 ○友達同士, 繰り返し練習することで, ダイアログに慣れるようにする。 ○友達同士, 対話をし合い, 時間割を作ることで, 児童が達成感をもつことができるようにする。	・状況設定を HRT とペアで行う。 ・口形やアクセントが分かるように単語を繰り返し発音する。 ・答えた児童を Good!Great! 等, 多様な言葉で称揚する。 ・大きな声で発話している児童を称揚する。	英語ノート
44	6 あいさつをする。	○児童と一緒に ALT と英語であいさつをすることで次時への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。	

6 評価

- (1) 教科の言い方を進んで伝えようとしていたか。
- (2) 「○曜日, ~を勉強します。」という表現を知り, 友達と発話することができたか。

7 指導後の反省等

ほとんどの児童は曜日の英語を知っていたが, 木曜日の発音が難しく集中的に練習した。曜日の歌を取り入れて, 楽しんで活動できていた。

第5学年 外国語活動学習指導案 (Lesson8-4)

備前市立片上小学校

- 1 単元名 時間割を作ろう
- 2 単元の目標 (1) オリジナルの時間割を考えたり、ゲームをしたりする。
(2) 英語で自分たちが作ったオリジナルの時間割を伝える。
(3) 世界の小学校の学校生活に興味をもつ。
- 3 既習ダイアログ I study ~ on ~ . . .
- 4 本時のねらい 「○曜日、～を勉強します。」という表現の仕方を理解し、自分のオリジナルの時間割を紹介しようとする。
- 5 本時の展開 (第4限目)

時間分	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物
3	1 あいさつをする。 2 前時の復習をする。 チャンツ	○児童と一緒に元気にあいさつをすることで外国語活動を始める雰囲気高める。 ○チャンツをすることを通して、楽しみながら英語表現に慣れるようにする。	・児童とあいさつをする。 ・体調や天気を尋ねる。 ・手拍子や動作を付けながらチャンツを言う。	CD
8	3 本時のめあてを知る。	自分の作ったオリジナル・時間割を紹介しよう。		
13	4 既習単語の復習をする。 5 既習ダイアログの復習をする。 状況設定 オリジナル時間割紹介	○テンポよくフラッシュカードを提示することで、活動に集中できるようにする。 ○事前に HRT が作ったオリジナル・時間割について、ALT と紹介する対話をするので、状況場面をつかむことができるようにする。 ○前に出ている児童に、クラス全員で尋ね、答えることにより自分の時間割を紹介することができるようにする。	・果物の単語を繰り返し発音する。 ・状況設定を HRT とペアで行う。 ・口形やアクセントが分かるように単語を繰り返し発音する。 ・大きな声で発話している児童を称揚する。	フラッシュカード オリジナル・パフエ
44	6 あいさつをする。	○児童と一緒に ALT と英語であいさつをすることで次時への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。	

- 6 評価
 - (1) 教科の言い方を進んで伝えようとしていたか。
 - (2) 「○曜日、～を勉強します。」という表現を理解し、時間割を紹介することができたか。
- 7 指導後の反省等

友達のオリジナルの時間割を尋ねて、答える活動が楽しくできた。教科名もバランスよく時間割に入るように助言していく必要があった。

第5学年 外国語活動学習指導案 Lesson7-3

備前市立片上小学校

- 1 単元名 ディズニーシーで「What's this ?」
- 2 単元の目標 (1) 積極的に尋ねたり、質問に答えたりする。
(2) 「What's this ?」の受け答えに慣れ親しむ。
(3) 海に関する単語に興味を持つ。
- 3 新出単語 fish, lobster, star fish ,shellfish,cuttlefish,jellyfish,octopus
turtle,dolphin,crab,coral,whale
新出ダイアログ What's this ? It is a fish.
- 4 本時のねらい クイズで出す問題づくりを What is this ?の言葉を使いながらすすめることができる。
- 5 本時の展開 (第3 限目)

時間 分	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物
2	1 ウォームアップ	○児童と一緒に元気にあいさつをすることで外国語活動を始める雰囲気を高める。 ○ALTと児童の対話に相づちを打ったり、称揚したりすることで、学習への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。 ・既習ダイアログを使って児童との会話を楽しみ、学習の雰囲気作りをする。	
7	2 本時のめあてを確認する。	ディズニーシーでWhat's this ?を成功させよう		
12	3 クイズ大会に向けての準備をおこなう。	○雰囲気が盛り上がるようにディズニーの音楽をかける。 ○分からないことやさらに聞きたいことはALTに尋ねて解決してもよいことを伝える。(名前が分からなくなったときは「What's this ?」と聞くこともすすめる。) ○上手に相手に伝えるためには練習が大切なことを伝え、準備が終わった班は練習ができるように促す。	・積極的に児童に声をかけて、ALTと話す機会をなるべく多くとれるようにする。 ・ただ単に答えを教えるのみならず、実際にALTが言った後に反復させる。 ・児童からの質問にヒントをあてて考えさせるような声かけをする。(ヒトデは星に似ているから star fish など)	音楽CD
38	4 たしかめをする。	○児童と対話を行い、個別評価することで達成感をもつことができるようにする。	・児童と1対1の対話をする。	
43	6 あいさつをする。	○児童と一緒に ALT と英語であいさつをすることで次時への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。	

6 評価

- (1) 「What's this ?」に慣れ、進んでクイズ大会に向けての質問や準備をしようとしていたか。
- (2) 「What's this ?」の言い方を知り、友達と発話することできたか。

7 指導後の反省等

分からない単語は積極的にALTに質問する子どもも多く見られるなど、引き続き子ども達は意欲を持って活動ができていた。思ったより準備に時間がかかり、総合学習などでのこのような学習での練習も必要だと感じた。

- 1 単元名 ディズニーシーで「What's this ?」
- 2 単元の目標 (1) 積極的に尋ねたり、質問に答えたりする。
(2) 「What's this ?」の受け答えに慣れ親しむ。
(3) 海に関する単語に興味を持つ。
- 3 新出単語 fish, lobster, star fish ,shellfish,cuttlefish,jellyfish,octopus
turtle,dolphin,crab,coral,whale
新出ダイアログ What's this ? It is a fish.
- 4 本時のねらい クイズ大会の中で、主体的に「What's this ?」を使い問題を出すことができる。
身近なところで「What's this ?」が使える場面を考えて生活にいかそうとする。
- 5 本時の展開 (第4限目)

時間 分	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物
2	1 ウォームアップ	○児童と一緒に元気にあいさつをすることで外国語活動を始める雰囲気高める。 ○ALTと児童の対話に相づちを打ったり、称揚したりすることで、学習への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。 ・既習ダイアログを使って児童との会話を楽しみ、学習の雰囲気作りをする。	
5	2 本時のめあてを確認する。	ディズニーシーでWhat's this ?のクイズ大会をしよう		
10	3 クイズ大会を始める。 ・What's this ?の練習をする。	○はっきりと伝えることがコミュニケーションには大切であることを伝える。(劇化の中で) ○雰囲気が盛り上がるようにディズニーの音楽をかける。 ○空いているところを促すことにより、多くの機会に触れさせるようにする。 ○時間を見計らってグループの入れ替えを行う。	・劇化の中で小さい声や大きな声で発音することにより子ども達に分かりやすい表現方法を考えさせる。 ・積極的に児童に声をかけて、ALTと話す機会をなるべく多くとれるようにする。 ・楽しく積極的に関わりができて活動している児童を称揚する。	音楽 CD
35	4 「What's this ?」が使える場面を考える。	○レストランの注文風景など身近で、よくありがちな場面を想定し、児童のほうから使ってみたい気持ちが自然と出てくるようにする。	○児童から出なかった場面以外に、実際にALT自身がよく使っている場面を紹介し、文化に少しでも触れる機会を作る。	
43	5 あいさつをする。	○児童と一緒に ALT と英語であいさつをすることで次時への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。	

6 評価

- (1) 「What's this ?」に慣れ、進んでクイズ大会の中で使おうとしていたか。
- (2) 「What's this ?」の言い方を知り、友達と発話することができたか。

7 反省

自分たちで何回もダイアログを繰り返していたので、十分に慣れることはできてきたと思う。受け答えをする児童にも「It's OO.」のダイアログも慣れさせておくと、スムーズな授業ができたと思う。

- 1 単元名 できることを紹介しよう
- 2 単元の目標 (1) 積極的に友達に「できること」を尋ねたり、自分の「できること」や「できないこと」を答えたりする。
(2) 「できる」「できない」と言う表現に慣れ親しむ。
(3) ショー・アンド・テルで発表することに興味をもつ。
- 3 新出単語 can, play, swim, ride, make
baseball, soccer, table tennis, unicycle, piano, guiter, omelet
新出ダイアログ Can you ~? Yes, I can. / No, I can't.
I can ~. I can't ~.
- 4 本時のねらい 「できる」「できない」の言い方を知り、英語で答えようとする。
- 5 本時の展開 (第1限目)

時間分	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物
5	1 ウォームアップ	○児童と一緒に元気にあいさつをすることで外国語活動を始める雰囲気高める。 ○ ALT と児童の対話に相づちを打ったり、抑揚することで、学習への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。 ・既習ダイアログを使って児童との会話を楽しみ、学習の雰囲気作りをする。 ・状況設定を HRT とペアで行う。	英語ノート
	2 新出単語を知る。 ・デモンストレーション	○ HRT と ALT が英語ノート P.24 Let's Listen ①の動物当てクイズをする中で、できることとできないことを話しているという状況場面をつかむことができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「I can ~. I can't ~.」の言い方に慣れよう。</div>		
15	3 新出単語の練習をする。 ・アクティビティ	○ ALT のヒントを聞いて、英語ノート P.24 Let's Listen ①を行い、ノートに書かせる。 ○ ALT の発問を聞いて、英語ノート P.25 Let's Listen ②.を行い、ノートに書かせる。	・口形や発音がよく分かるように、新出ダイアログを繰り返し発音する。 ・聞き取りにくい時は、繰り返し発音する。	英語ノート
30	・チャンツ	○ クラスを SWIM 組と FRY 組に分け、ALT が言った動物ができたなら発音しながら立ち、できなかったら発音しながら座るようにさせる。	・リズムに合わせて動物の名前を言う。 ・大きな声で発音している児童に Good! Great!等、多様な言葉で称揚する。	フラッシュカード
40	4 たしかめをする。	○ 児童と対話を行い、個別評価することで達成感をもつことができるようにする。	・児童と1対1の対話をする。	
44	5 あいさつをする。	○ 児童と一緒に ALT と英語であいさつをすることで、次時への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。	

6 評価

- (1) 「できる」「できない」の言い方に興味をもち、進んで話そうとしていたか。
- (2) 「できる」「できない」の言い方を知り、大きな声で発音することができたか。

7 指導後の反省等

「I can ~. I can't ~」の言い方に慣れよう、というめあてであったが、子どもの発話は、質問に答える際の「Yes, I can. No, I can't ~」の部分が中心になってしまった。

- 1 単元名 できることを紹介しよう
- 2 単元の目標 (1) 積極的に友達に「できること」を尋ねたり、自分の「できること」や「できないこと」を答えたりする。
(2) 「できる」「できない」と言う表現に慣れ親しむ。
(3) ショー・アンド・テルで発表することに興味をもつ。
- 3 新出単語 can, play, swim, ride, make, baseball, soccer, table tennis, unicycle, piano, guitar, omelet
新出ダイアログ Can you ~? Yes, I can. / No, I can't.
I can ~. I can't ~.
- 4 本時のねらい 動作の言い方を知り、進んで英語で答えようとする。
- 5 本時の展開 (第2 限目)

時間分	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物
5	1 ウォームアップ 2 本時のめあてを知る。 ・デモンストレーション	<ul style="list-style-type: none"> ○児童と一緒に元気にあいさつをすることで英語活動を始める雰囲気高める。 ○ALTと児童の対話に相づちを打ったり、抑揚することで、学習への意欲を高める。 ○ALTとHLTが英語ノートP.26の動作ができるかどうか自慢大会を行うことで動作の言い方に興味をもてるようにする。 ○その動作が得意な児童がいれば、前に出てやってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童とあいさつをする。 ・既習ダイアログを使って児童との会話を楽しみ、学習の雰囲気作りをする。 ・状況設定をHRTとペアで行う。 	英語ノート
15	3 新出単語の練習をする。 ・ゲーム カルタ遊び	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">スポーツや演奏などの動作の言い方を知ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○テンポよく英語ノートP.26の動作絵カードを提示し、活動に集中できるようにする。 ○英語ノートP.26の動作のカルタを使って、ALTが言った動作のカルタをとるよう示す。 ○英語ノートP.26の動作を自分ができるかできないかをノートに書き、ALTの質問に答えるようにする。 ○最初はYes, Noだけで答え、次に付け足して、I can ~. I can't ~. をつけて答えるよう示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・口形や発音がよく分かるように、新出単語を繰り返し発音する。 ・聞き取りにくい時は、繰り返し発音する。 	英語ノート
30	・チャンツ		<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で発音している児童を、多様な言葉で称揚する。 	
40	4 たしかめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○児童と対話を行い、個別評価することで達成感をもつことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と1対1の対話をする。 	
44	5 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○児童と一緒にALTと英語であいさつをすることで次時への意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童とあいさつをする。 	

- 6 評価
 - (1) スポーツや演奏などの動作の言い方に興味をもち、進んでゲームに参加しようとしていたか。
 - (2) スポーツや演奏などの動作の言い方を知り、大きな声で発音することができたか。
- 7 指導後の反省等
Can you 動詞～? Can you 動詞 the 楽器? Can you 動詞 a (an) ～? など文の仕組みが一気に難しくなるので、その部分を丁寧に押さえながら進めたが、子ども達は戸惑っているようであった。

- 1 単元名 できることを紹介しよう
- 2 単元の目標 (1) 積極的に友達に「できること」を尋ねたり、自分の「できること」や「できないこと」を答えたりする。
(2) 「できる」「できない」という表現に慣れ親しむ。
(3) ショー・アンド・テルで発表することに興味をもつ。
- 3 新出単語 can, play, swim, ride, make
baseball, soccer, table tennis, unicycle, piano, guitar, omelet
新出ダイアログ Can you ~? Yes, I can. / No, I can't.
I can ~. I can't ~.
- 4 本時のねらい 「できること」の尋ね方と答え方に興味をもち、慣れ親しもうとする。
- 5 本時の展開 (第3限目)

時間	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物
5	1 ウォームアップ	○児童と一緒に元気にあいさつをすることで外国語活動を始める雰囲気高める。 ○ ALT と児童の対話に相づちを打ったり、称揚することで、学習への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。 ・既習ダイアログを使って児童との会話を楽しみ、学習の雰囲気作りをする。	
	2 本時のめあてを知る。 ・デモンストレーション	○ ALT と HLT が絵さがし絵本“ミッケ”をすることで、Can you ~?の使い方に慣れ、状況場面をつかむことができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">「Can you ~?」の言い方と答え方に慣れよう。</div>	・状況設定をHRTとペアで行う。	絵さがし
10 25 30 40 44	3 新出ダイアログの練習をする。 ・ゲーム 絵さがしゲーム ・チャンツ ・アクティビティ	○ALTの質問に対して、2人1組になって絵さがしゲームをするように示す。 ○見つけた児童は“Yes, I can.”と言って挙手させる。 ○カードを見せながら、英語ノートP.26の動作ができるカリズムにのせて楽しく行う。 ○英語ノート.27の動作ができるか友達や先生に尋ねさせ、できた人の名前をノートに書かせる。	・新出ダイアログを繰り返し発音する。 ・大きな声で発音している児童を称揚する。 ・児童同士、対話をしている場に入り、発話に困っている児童の手助けをする。 ・児童と1対1の対話をする。	絵さがし フラッシュカード 英語ノート
44	4 たしかめをする。	○児童と対話を行い、個別評価することで達成感をもつことができるようにする。		
	5 あいさつをする。	○児童と一緒にALTと英語であいさつをすることで、次時への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。	

- 6 評価
 - (1) 「できること」の尋ね方と答え方に興味をもち、進んでゲームに参加しようとしていたか。
 - (2) たくさんの友達に「できること」を積極的に尋ねたり答えたりして、友達との交流を楽しむことができたか。
- 7 指導後の反省等
「Can you ~?」の言い方は、日本語の「～できる?」よりは、子ども達は複雑に感じていた。

- 1 単元名 できることを紹介しよう
- 2 単元の目標 (1) 積極的に友達に「できること」を尋ねたり、自分の「できること」や「できないこと」を答えたりする。
(2) 「できる」「できない」という表現に慣れ親しむ。
(3) ショー・アンド・テルで発表することに興味をもつ。
- 3 新出単語 can, play, swim, ride, make
baseball, soccer, table tennis, unicycle, piano, guitar, omelet
新出ダイアログ Can you ~? Yes, I can. / No, I can't.
I can ~. I can't ~.
- 4 本時のねらい 「できること」や「できないこと」を紹介することに興味をもち、友達と積極的に交流を楽しもうとする。
- 5 本時の展開 (第4限目)

時間分	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物
5	1 ウォームアップ	○児童と一緒に元気にあいさつをすることで外国語活動を始める雰囲気高める。 ○ALTと児童の対話に相づちを打ったり、抑揚することで、学習への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。 ・既習ダイアログを使って児童との会話を楽しみ、学習の雰囲気作りをする。	自己紹介カード
	2 本時のめあてを知る。 ・デモンストレーション	○ALTとHRTが自分で書いた絵を示しながら自己紹介することで、状況場面をつかむことができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「できること」「できないこと」を紹介しよう。</div>	・状況設定をHRTとペアで行う。	
10	3 新出ダイアログの練習をする。 ・チャンツ	○カードを見せながら、英語ノートP.26の動作ができるかリズムにのせて楽しく行う。	・新出ダイアログを繰り返し発音する。	フラッシュカード
15	4 ショー・アンド・テルをする。	○英語ノート.28に自分ができるところ、できないことの絵をかかせグループに分かれて自己紹介させる。 ○何回かグループ替えをし、繰り返しアウトプットさせる。	・大きな声で発音している児童を称揚する。 ・児童同士、対話をしている場に入り、発話に困っている児童の手助けをする。	英語ノート
30	5 Who am I?ゲームをする。	○ALTが読んだ自己紹介文を聞き、それが誰か予想して発表させる。	・本人になりきって、自己紹介文を読む。	英語ノート
40	6 たしかめをする。	○児童と対話を行い、個別評価することで達成感をもつことができるようにする。	・児童と1対1の対話をする。	
44	7 あいさつをする。	○児童と一緒にALTと英語であいさつをすることで、次時への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。	

- 6 評価
 - (1) 「できること」や「できないこと」を紹介することに興味をもち、進んで大きな声で発音しようとしていたか。
 - (2) 「できること」や「できないこと」を紹介しながら、友達と積極的に交流を楽しむことができたか。
- 7 指導後の反省等
Who am I? のような聞いて答えるゲームには、積極的に取り組むことができていた。

- 1 単元名 行ってみたい国を紹介しよう
- 2 単元の目標 (1) 行ってみたい国についてスピーチしたり, 積極的に友だちのスピーチを聞いたりする。
(2) どの国に行きたいか尋ねたり, 答えたりする表現に慣れ親しむ。
(3) 様々な英語が話されていることに興味をもつ。
- 3 新出単語 Japan China Egypt India Australia Spain America Italy Korea
Brazil France Ghana
新出ダイアログ Where do you want to go? I want to go to~.
- 4 本時のねらい いろいろな国名に興味を持ち, すすんで単語に慣れ親しもうとする。
- 5 本時の展開 (第1限目)

時間分	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物
	1 ウォームアップ	○児童と一緒に元気にあいさつをすることで外国語活動を始める雰囲気高める。 ○ALTと児童の対話に相づちを打ったり, 称揚したりすることで, 学習への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。 ・既習ダイアログを使って児童との会話を楽しみ, 学習の雰囲気作りをする。	
5	2 本時のめあてを知る。 ・スリーヒントクイズ ・Let's listen	○国名を当てるスリーヒントクイズをする。 ○英語ノートp. 37「Let's listen②」のCDを聞いて, 国名を考えさせる。	・ヒントの単語や, 国名を印象づけながら発音する。 ・キーワードを印象づけるように強調して答え合わせをする。	デジタルコンテンツ 英語ノート
いろいろな国の名前を知ろう。				
20	3 国名の言い方に慣れる。 ・新出単語練習 ・デモンストレーション	○テンポよくカードを提示し, 活動に集中できるようにする。 ○国旗カードを見ながら, ALTと対話することで, 行きたい国について話しているという状況場面をつかむことができるようにする。 ○国旗カルタを準備させ, ALTの行きたい国を聞いて, カルタを取るようにさせる。	・国名を繰り返し発音する。 ・状況設定をHLTとペアで行う。 A: Where do you want to go? H: I want to go to~. ・ダイアログを印象づけながら発話する。 H: Where do you want to go? A: I want to go to~.	フラッシュカード 国旗カルタ
25	・ゲーム			
38	4 たしかめをする。	○児童と対話を行い, 個別評価することで達成感をもつことができるようにする。待っている間は, 学習のふりかえりを記入させる。	・児童と1対1の対話をする。	
44	5 あいさつをする。	○児童と一緒にALTと英語であいさつをすることで次時への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。	

- 6 評価
 - (1) 国名に興味をもち, すすんで会話やゲームに参加していたか。
 - (2) 国名を表す単語に慣れ, 発音することができたか。
- 7 指導後の反省等
国名を考えるスリーヒントクイズでの導入は児童に非常に好評だった。国旗カルタでは, 児童が集中してALTの言葉を聞くことができていた。

第6学年 外国語活動学習指導案 Lesson 6-3

備前市立片上小学校

- 1 単元名 行ってみたい国を紹介しよう
- 2 単元の目標 (1) 行ってみたい国についてスピーチしたり、積極的に友だちのスピーチを聞いたりする。
(2) どの国に行きたいか尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。
(3) 様々な英語が話されていることに興味をもつ。
- 3 新出単語 Japan China Egypt India Australia Spain America Italy Korea
Brazil France Ghana
新出ダイアログ Where do you want to go? I want to go to~.
- 4 本時のねらい 行きたい国の言い方を知り、すすんで慣れ親しもうとする。
- 5 本時の展開 (第3限目)

時間分	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物
10	1 ウォームアップをする。 5 2 既習ダイアログの練習をする。 3 本時のめあてを知る。 ・デモンストレーション	<ul style="list-style-type: none"> ○児童と一緒に元気にあいさつをすることで外国語活動を始める雰囲気高める。 ○ALTと児童の対話に相づちを打ったり、称揚したりすることで、学習への意欲を高める。 ○英語ノート p.40 の Let's Listen を行い、聞き取ったことを簡単にメモさせる。 ○聞き取った内容を、電子黒板を使って確認する。 ○HRTとALTが海外旅行のパンフレットを見ながら対話をするので、行きたい国について話しているという状況場面をつかむことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童とあいさつをする。 ・既習ダイアログを使って児童との会話を楽しみ、学習の雰囲気作りをする。 ・確認の活動では、キーワードを繰り返し発音し慣れ親しませる。 ・正しく聞き取っていた児童を称揚する。 ・状況設定をHRTと行う。 ALT: Where do you want to go? HRT: I want to go to ~. ・行きたい理由についても話し、児童がスピーチを考える時のモデルにもなるようにする。 	英語ノート 電子黒板 旅行パンフレット
行きたい国の尋ね方や言い方に慣れよう。				
15 20	4 新出ダイアログの練習をする。 ・チャンツ ・ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ○絵カードを見せながら、チャンツをリズムにのせて楽しく行う。 ○変化のある繰り返しで楽しく反復練習できるようにする。 ○国旗カードを使ったトレーディングゲームの仕方をデモンストレーションを交えて簡潔に説明する。 ○ゲームがスムーズにできるように進行役を務める。 ○3枚集めた児童に、他の児童が行きたい国を尋ね、ゲームのまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・変化をつけながら繰り返し発音し、行きたい国の尋ね方や言い方に慣れさせる。 ・はっきりした声で発音している児童を多様な言葉で称揚する。 ・児童と一緒にゲームに参加し、発話に困っている児童を支援する。 	フラッシュカード タンバリン 国旗カード
40	5 たしかめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○児童と対話を行い、個別評価することで達成感をもつことができるようにする。待っている間は学習のふりかえりを記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と1対1の対話をする。 	ふりかえりプリント
44	6 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○児童と一緒に ALT と英語であいさつをすることで、次時への意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童とあいさつをする。 	

6 評価

- (1) 行きたい国の尋ね方や答え方に興味をもち、すすんでゲームやチャンツに参加していたか。
- (2) 行きたい国の尋ね方や答え方の表現に慣れ、はっきりとした声で発音することができたか。

7 指導後の反省等

トレーディングゲームでは、コミュニケーションの必要感が生まれ、児童がたくさんの友達と積極的に会話しようとする様子が見られた。

第6学年 外国語活動学習指導案 Lesson10-1

備前市立片上小学校

- 1 単元名 将来の夢を紹介しよう
- 2 単元の目標 (1) 積極的に職業を尋ねたり、質問に答えたりする。
(2) どのような職業につきたいか尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。
(3) 様々な職業の言い方に興味をもつ。
- 3 新出単語 teacher, doctor, racing driver, tennis player, cook, fire fighter, singer, nurse, astronaut, farmer, baseball player, soccer player, police officer, pilot, scientist, engineer
新出ダイアログ What do you want to be? I want to be a teacher.
- 4 本時のねらい いろいろな職業の言い方に興味をもち、すすんで単語に慣れ親しもうとする。
- 5 本時の展開 (第1限目)

時間分	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物
5	1 ウォームアップ 2 本時のめあてを知る。	○児童と一緒に元気にあいさつをすることで外国語活動を始める雰囲気高める。 ○ALTと児童の対話に相づちを打ったり、称揚したりすることで、学習への意欲を高める。 ○有名な人物や身近な人物の写真を示し、ALTの質問に答える。	・児童とあいさつをする。 ・既習ダイアログを使って児童との会話を楽しみ、学習の雰囲気作りをする。 ・写真の人物の職業についてHRTに尋ね、児童に職業の言い方に興味をもたせる。	デジタルコンテンツ
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> いろいろな職業の言い方を知ろう </div>				
10 20 23	3 いろいろな職業の言い方に慣れる。 ・アクティビティ ・新出単語練習 ・ゲーム	○英語ノート p.56 の5人の職業についてのALTの質問を児童と一緒に考える。 ○児童が単語で答えた時は、児童の発言を文にして復唱し、児童に文での言い方に触れさせる。 ○テンポよくカードを提示し、活動に集中できるようにする。 ○英語ノート p.57 のビンゴゲームの絵カードを準備させ、ビンゴシートを完成するように指示する。 ○HRTもビンゴシートを作り、児童と一緒にゲームを楽しむ。	・5人について質問をし、5人がどのような職業かを確認する。 ・確認する際には、児童の答えを受けて、さらに詳しく予想させ、児童とのやりとりを楽しむようにする。 ・職業の単語を繰り返し発音する。 ・答えを言う時、繰り返し発音したり、児童と一緒に発音したりして、職業の言い方に慣れさせる。 ・大きな声で発音している児童を称揚する。	英語ノート フラッシュカード 英語ノート
38	4 たしかめをする。	○児童と対話を行い、個別評価することで達成感をもつことができるようにする。	・児童と1対1の対話をする。	
44	5 あいさつをする。	○児童と一緒にALTと英語であいさつをすることで次時への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。	

- 6 評価
 - (1) 職業の言い方に興味をもち、進んで会話やゲームに参加しようとしていたか。
 - (2) 様々な職業を表す単語に慣れ、大きな声で発音することができたか。
- 7 指導後の反省等

いろいろな職業を表す単語に興味をもって、発音することができていた。

第6学年 外国語活動学習指導案 Lesson10-2

備前市立片上小学校

- 1 単元名 将来の夢を紹介しよう
- 2 単元の目標 (1) 積極的に職業を尋ねたり、質問に答えたりする。
(2) どのような職業につきたいか尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。
(3) 様々な職業の言い方に興味をもつ。
- 3 新出単語 teacher, doctor, racing driver, tennis player, cook, fire fighter, singer, nurse, astronaut, farmer, baseball player, soccer player, police officer, pilot, scientist, engineer
新出ダイアログ What do you want to be? I want to be a teacher.
- 4 本時のねらい 将来つきたい職業の言い方を知り、進んで慣れ親しもうとする。
- 5 本時の展開 (第2限目)

時間分	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物
5	1 ウォームアップ	○児童と一緒に元気にあいさつをすることで外国語活動を始める雰囲気高める。 ○ALTと児童の対話に相づちを打ったり、称揚したりすることで、学習への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。 ・既習ダイアログを使って児童との会話を楽しみ、学習の雰囲気作りをする。	フラッシュカード
	2 新出単語の練習をする。	○テンポよくカードを提示し、活動に集中できるようにする。	・職業の単語を繰り返し発音する。 ・大きな声で発音している児童を称揚する。	
8	3 本時のめあてを知る。 ・デモンストレーション	○HRTとALTそれぞれの小学校時代の写真を見ながら対話することで、将来なりたい職業について話しているという状況場面をつかむことができるようにする。	・状況設定をHRTとペアで行う。 A: What do you want to be? H: I want to be a teacher.	デジタルコンテツ
将来つきたい職業の言い方に慣れよう。				
13	4 新出ダイアログの練習をする。	○絵カードを見せながら、英語ノートp.57のチャンツをリズムにのせて楽しく行う。	・大きな声で発音できている児童を多様な言葉で称揚する。	英語ノート
18	・チャンツ ・ゲーム	○英語ノートp.59のチェン・ゲームを行うことにより、ダイアログに慣れるようにする。	・発話に困っている児童を支援する。	
38	5 たしかめをする。	○児童と対話を行い、個別評価することで達成感をもつことができるようにする。	・児童と1対1の対話をする。	
44	6 あいさつをする。	○児童と一緒にALTと英語であいさつをすることで次時への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。	

6 評価

- (1) 将来の夢の言い方に興味をもち、進んでゲームやチャンツに参加しようとしていたか。
- (2) 将来の夢の言い方の表現に慣れ、大きな声で発音することができたか。

7 指導後の反省等

「～になりたい」という言い方を学習したので、ゲームの中で自分のことを話したい子どももいた。

- 1 単元名 将来の夢を紹介しよう
- 2 単元の目標 (1) 積極的に職業を尋ねたり，質問に答えたりする。
(2) どのような職業につきたいか尋ねたり，答えたりする表現に慣れ親しむ。
(3) 様々な職業の言い方に興味をもつ。
- 3 新出単語 teacher, doctor, racing driver, tennis player, cook, fire fighter, singer, nurse, astronaut, farmer, baseball player, soccer player, police officer, pilot, scientist, engineer
新出ダイアログ What do you want to be? I want to be a teacher.
- 4 本時のねらい 将来つきたい職業の尋ね方と答え方を知り，すすんで慣れ親しもうとする。
- 5 本時の展開 (第3限目)

時分	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物
5	1 ウォームアップ	○児童と一緒に元気にあいさつをすることで外国語活動を始める雰囲気高める。	・児童とあいさつをする。	
8	2 新出単語の練習をする。	○ALTと児童の対話に相づちを打ったり，称揚したりすることで，学習への意欲を高める。	・既習ダイアログを使って児童との会話を楽しみ，学習の雰囲気作りをする。	フラッシュカード
8	3 本時のめあてを知る。 ・デモンストレーション	○テンポよくカードを提示し，活動に集中できるようにする。	・職業の単語を繰り返し発音する。 ・大きな声で発音している児童を称揚する。	デジタルコンテンツ
13	4 新出ダイアログの練習をする。	○いろいろな人物の子ども時代役になったHRTとALTが，対話をするすることで，将来なりたい職業について話しているという状況場面をつかむことができるようにする。	・状況設定をHRTとペアで行う。	
18	・チャンツ ・アクティビティ			
38	5 たしかめをする。	○絵カードを見せながら，英語ノートp.57のチャンツをリズムにのせて楽しく行う。	・大きな声で発音できている児童を多様な言葉で称揚する。	
44	6 あいさつをする。	○英語ノートp.59のアクティビティを行うことにより，ダイアログに慣れるようにする。	・発話に困っている児童を支援する。	英語ノート
		○会話の中で，あいさつやあいづちも使えるように意識させる。		
		○児童と対話を行い，個別評価することで達成感をもつことができるようにする。	・児童と1対1の対話をする。	
		○児童と一緒にALTと英語であいさつをすることで次時への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。	

将来つきたい職業の尋ね方と答え方に慣れよう。

- 6 評価
 - (1) 将来の夢の尋ね方と答え方に興味をもち，進んでアクティビティやチャンツに参加しようとしたか。
 - (2) 将来の夢の尋ね方と答え方の表現に慣れ，大きな声で発音することができたか。
- 7 指導後の反省等
前時に尋ね方を耳にはしているが，すぐに発話までいくのは難しい子どももいた。

第6学年 外国語活動学習指導案 Lesson10-4

備前市立片上小学校

- 1 単元名 将来の夢を紹介しよう
- 2 単元の目標 (1) 積極的に職業を尋ねたり、質問に答えたりする。
(2) どのような職業につきたいか尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。
(3) 様々な職業の言い方に興味をもつ。
- 3 新出単語 teacher, doctor, racing driver, tennis player, cook, fire fighter, singer, nurse, astronaut, farmer, baseball player, soccer player, police officer, pilot, scientist, engineer
新出ダイアログ What do you want to be? I want to be a teacher.
- 4 本時のねらい 将来つきたい職業をスピーチして、進んでみんなと伝え合おうとする。
- 5 本時の展開 (第4限目)

時間	学習活動	HRTの支援	ALTの支援	準備物
5	1 ウォームアップ	○児童と一緒に元気にあいさつをすることで外国語活動を始める雰囲気高める。 ○ALTと児童の対話に相づちを打ったり、称揚したりすることで、学習への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。 ・既習ダイアログを使って児童との会話を楽しみ、学習の雰囲気作りをする。	フラッシュカード
	2 新出単語の練習をする。 ・チャンツ	○テンポよくカードを提示し、活動に集中できるようにする。 ○絵カードを見せながら、英語ノートp.57のチャンツをリズムにのせて楽しく行う。	・職業の単語を繰り返し発音する。 ・大きな声で発音している児童を称揚する。	
10	3 本時のめあてを知る。 ・デモンストレーション	○ALTとデモンストレーションを行い、本時の活動のめあてを知らせる。	・スピーチのデモンストレーションを行い、活動のイメージをつかませる。	
将来つきたい職業をスピーチしてみんなと伝え合おう。				
15	4 自分の夢を紹介するスピーチをする。 ・アクティビティ1	○英語ノートp.60のスピーチ・メモを作り、隣同士でスピーチの練習をさせる。理由は日本語で言ってもよいことにし、活動への抵抗を少なくする。	・理由を英語で言いたい児童には、言い方を教える。 ・発話に困っている児童を支援する。	英語ノート
25	・アクティビティ2	○英語ノートp.61を活用しながら、グループでスピーチをさせる。グループを次々に変え、できるだけ何回もスピーチできる機会を作る。	○各グループを回り、発話に困っている児童を支援したり、スピーチできた児童を賞揚したりする。	
38	5 たしかめをする。	○児童と対話を行い、個別評価することで達成感をもつことができるようにする。	・児童と1対1の対話をする。	
44	6 あいさつをする。	○児童と一緒にALTと英語であいさつをすることで次時への意欲を高める。	・児童とあいさつをする。	

- 6 評価
 - (1) 将来の夢のスピーチに興味をもち、進んでアクティビティに参加しようとしていたか。
 - (2) 将来の夢のスピーチの仕方に慣れ、大きな声でみんなと夢を伝え合うことができたか。
- 7 指導後の反省等
単元を通して、将来の自分について真剣に考えることができたことも意義深かった。